

## 取扱説明書（保証書付）

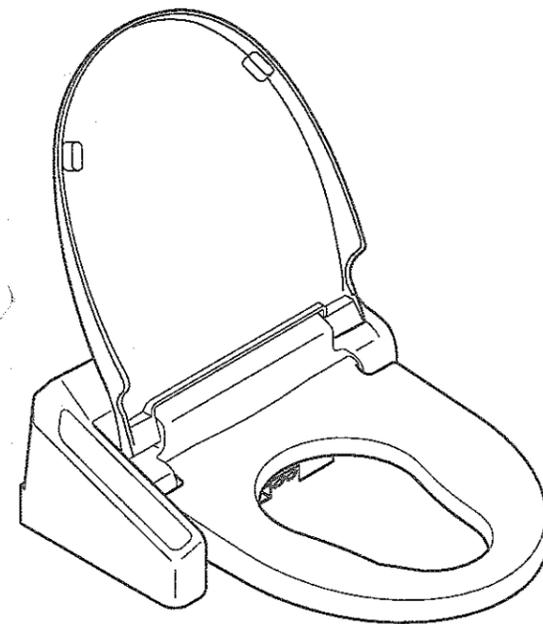
日立温水洗浄便座

# ファミレット®

HC-2200/2210 シリーズ

HC-2000/2010 シリーズ

HC-1900/1910 シリーズ



このたびは、日立温水洗浄便座をお求めいただき、まことにありがとうございました。  
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。  
なお、お読みになった後は、大切に保管して、必要なときはご参照ください。

### もくじ

#### お使いになる前に

機能の確認	2
付属品	3

#### 設置説明

安全上のご注意	4
各部のなまえ	5
配管の確認と準備	7
取付手順	8
（試運転）	15

#### 使いかた

使用上のご注意	18
おしり洗浄	22,25
ビデ洗浄	22,25
温風乾燥	22,25
部屋暖房	23

#### お手入れ・凍結予防

お手入れのしかた	26
凍結予防について	28

#### 仕様・アフターサービス

仕様	29
故障かなと思ったとき	30
アフターサービスについて	31
サービス網一覧	32

# 我が家は「ファミレット」でさわやかファミリー

# 付属品

取扱説明書を読まれる前に、次の表からお買い求めいただいたファミレットの機能をご確認ください。

型式	おしり洗浄 ビデ洗浄	部屋暖房	脱臭	温風乾燥	リモコン	新トリプル シャワー	ノズル 位置調節	おそうじ スライド
HC-2000TH	○	○	○	○	○	○	○	○
HC-2000DHL	○	○	○	—	○	○	○	○
HC-2000EHL	○	○	—	—	○	○	○	○
HC-2010TH	○	○	○	○	○	○	○	○
HC-2010DHL	○	○	○	—	○	○	○	○
HC-2010EHL	○	○	—	—	○	○	○	○
HC-2200TH	○	○	○	○	—	—	—	—
HC-2200DHL	○	○	○	—	—	—	—	○
HC-2200EHL	○	○	—	—	—	—	—	○
HC-2210TH	○	○	○	○	—	—	—	—
HC-2210DHL	○	○	○	—	—	—	—	○
HC-2210EHL	○	○	—	—	—	—	—	○
HC-2000T	○	—	○	○	○	○	○	○
HC-2000D	○	—	○	—	○	○	○	○
HC-2000E	○	—	—	—	○	○	○	—
HC-2010T	○	—	○	○	○	○	○	○
HC-2010D	○	—	○	—	○	○	○	○
HC-2010E	○	—	—	—	○	○	○	—
HC-2200TL	○	—	○	○	—	—	—	○
HC-2200DL	○	—	○	—	—	—	—	○
HC-2200EL	○	—	—	—	—	—	—	○
HC-2200T	○	—	○	○	—	—	—	—
HC-2200D	○	—	○	—	—	—	—	—
HC-2200E	○	—	—	—	—	—	—	—
HC-2210T	○	—	○	○	—	—	—	—
HC-2210D	○	—	○	—	—	—	—	—
HC-2210E	○	—	—	—	—	—	—	—
HC-1900T	○	—	○	○	—	—	—	—
HC-1900D	○	—	○	—	—	—	—	—
HC-1900E	○	—	—	—	—	—	—	—
HC-1910TH	○	○	○	○	—	—	—	—
HC-1910T	○	—	○	○	—	—	—	—
HC-1910D	○	—	○	—	—	—	—	—
HC-1910E	○	—	—	—	—	—	—	—

↑ 型式は便座ふた内側に貼ってあるラベルの右上に表示してあります。お買い求めいただいたファミレットの型式を確認いただき、型式欄の左に印をつけておいてください。

## 全型式共通

	取扱説明書 (保証書付)
	アース線
	取付ボルト (L115mm)
	平パッキン3.5mm (おそうじスライド 付きは無し)
	半丸パッキン
	スリップワッシャ
	ナット
	便座取付工具
	連結ホース (パッキン付)
	分岐金具

## リモコン付きのみ

	リモコン ホルダー
	単三電池
	木ねじ
	アンカープラグ

## 脱臭機能付きのみ

	脱臭カセット
--	--------

## おそうじスライド付きのみ

	平パッキン2mm
	ゴムスペーサー
	おそうじスライド

## HC-1900シリーズのみ

	BK-ADP (パッキン付)
--	-------------------

# 設置説明

# 各部のなまえ

の数字は参照ページです。

## お願い

- 電気工事が必要な場合は、必ず電気工事店に依頼してください。
- 設置後は取扱説明書（保証書付）を大切に保管してください。

## 安全上のご注意

### 警告



浴室など、湿気の多い場所には設置しない  
感電や火災の原因になります。



中水道や工業用水の水道に接続しない  
ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす恐れがあります。

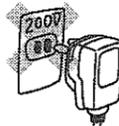


アースを必ず取付ける  
D種（第三種）接地工事をしてください。  
故障や漏電のとき感電の原因になります。

### 注意



交流100V以外は使用しない  
火災や感電の原因になります。

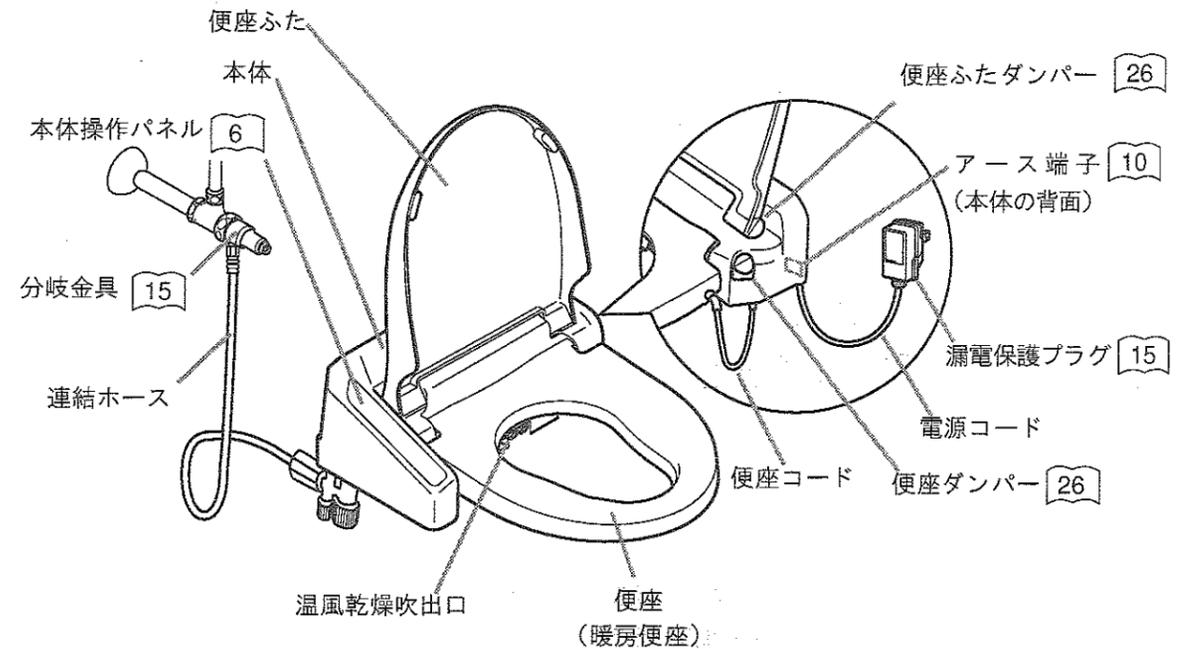


電源コードや漏電保護プラグが傷んだり、  
コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない  
感電・ショート・発火の原因になります。

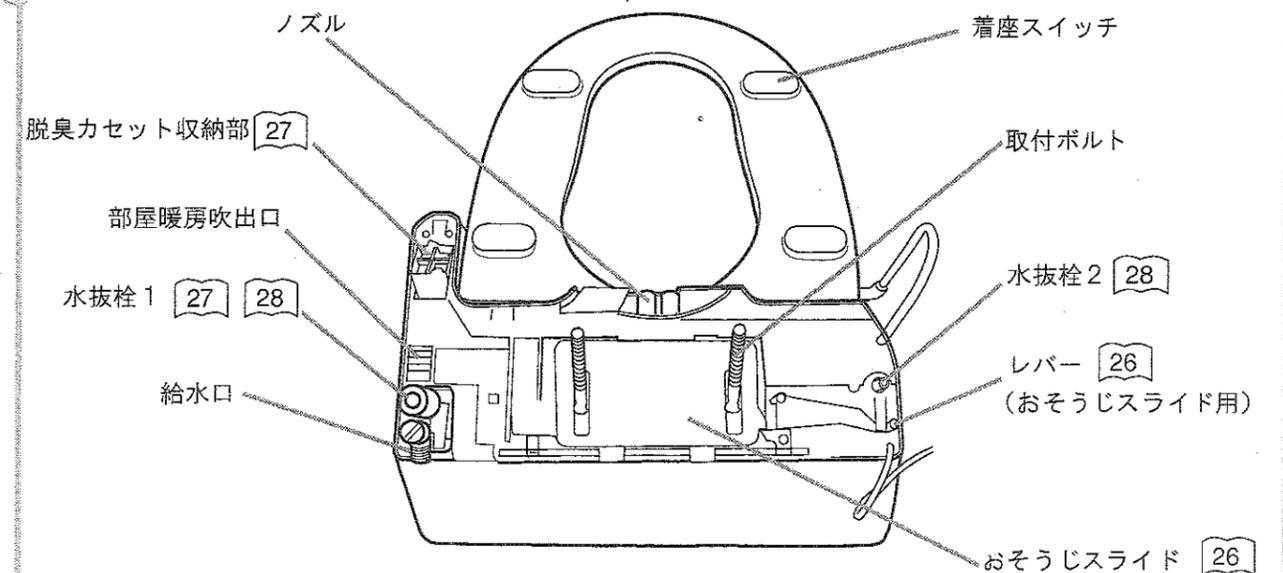


- 直射日光の当たる場所やストーブ、暖房用ヒーターの近くには設置しないでください。
- 電源は交流100V(50/60Hz)消費電力600Wに適した配線のコンセントを使用してください。

## 本体表側



## 本体裏側

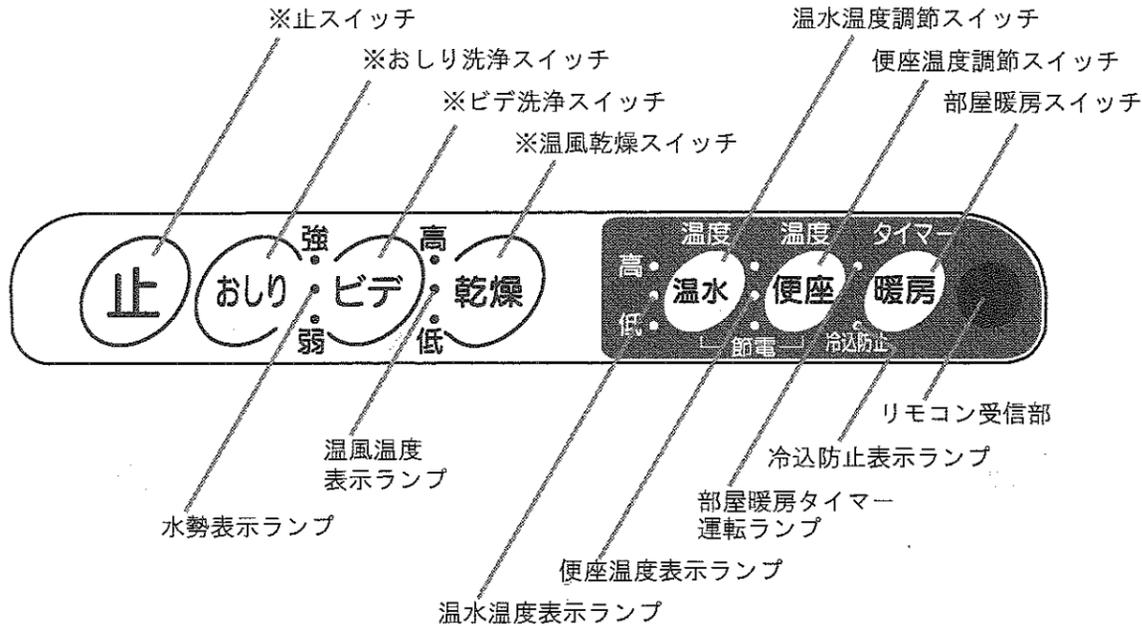


# 確認と準備 (トイレ配管の種類と必要部品)

配管の種類によっては、付属品の他に、別売部品が必要な場合があります。  
 下表で確認の上、お買い求めの販売店にご相談ください。  
 配管の際、スパナとマイナスドライバーが必要となります。

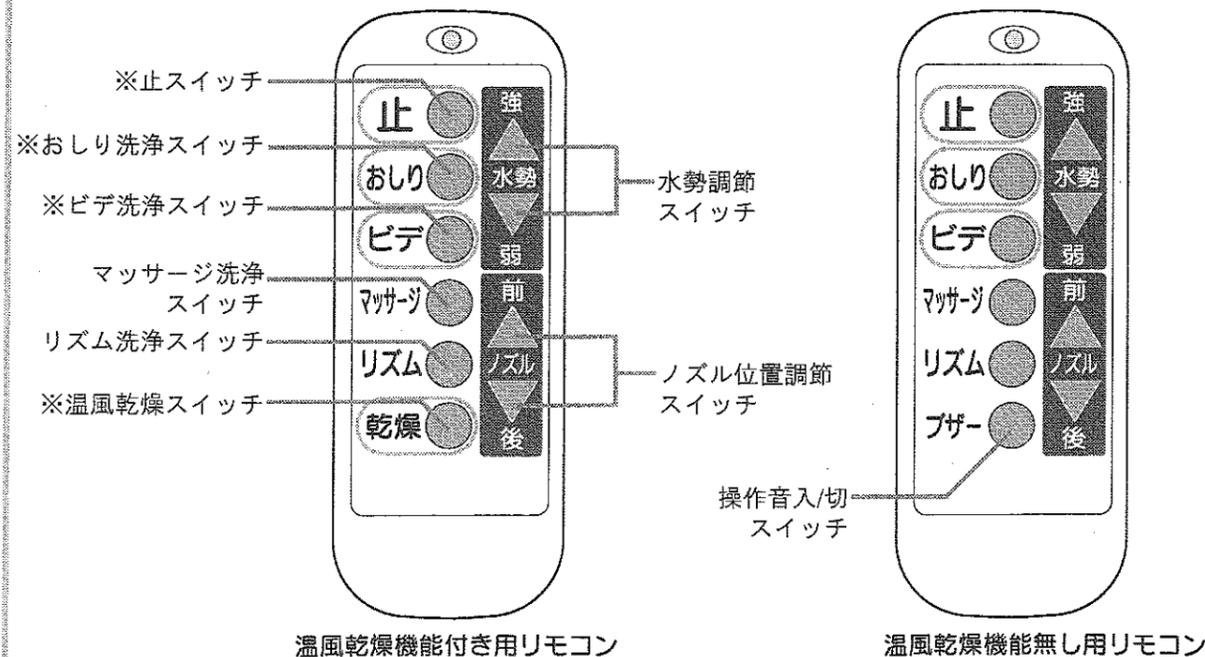
## 本体操作パネル 22

イラストは部屋暖房、温風乾燥機能付きの本体操作パネルを示しています。



※印のスイッチに点字を設けています。

## リモコン操作パネル 24



※印のスイッチに点字を設けています。

トイレ配管	一般の止水栓	内ねじ止水栓
	<p>袋ナット</p> <p>同梱の分岐金具のみで取付可能です</p>	<p>給水管</p> <p>この形に注目</p>
BK-ADP 分岐金具アダプタ	—————	○ HC-1900シリーズは付属
フラッシュバルブ アダプタ HC-200PT017	—————	—————
その他	—————	給水管の切断は、給水管の代わりにフレキパイプ(別売)を使用すれば不要

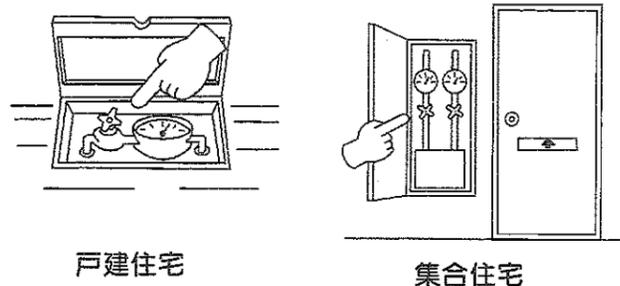
トイレ配管	寒冷地用給水管 (止水栓なし)	フラッシュバルブ式
		<p>{ 東陶製フラッシュバルブ 給排水芯々120mmの場合 }</p> <p>120mm</p>
BK-ADP 分岐金具アダプタ	○ HC-1900シリーズは付属	○ HC-1900シリーズは付属
フラッシュバルブ アダプタ HC-200PT017	—————	○
その他	東陶製給水管T5MF7N (市販品)が別途必要	—————

工事についてはお買い求めの販売店にご相談ください

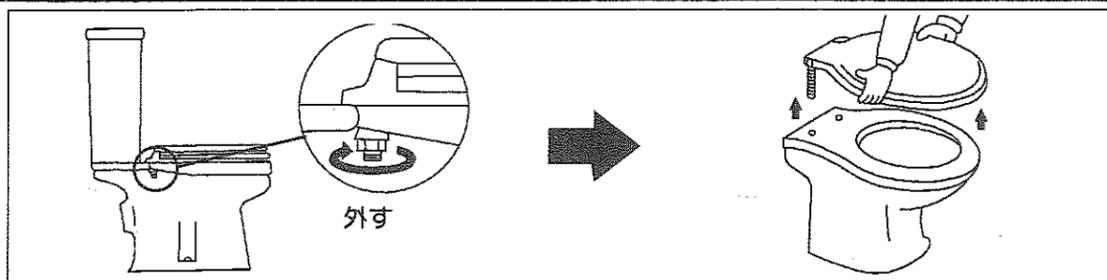
# 取付手順

## 1 水道の元栓を閉めます

- (1) 水道の元栓を閉めます。  
 ●元栓を閉める前にガス湯沸器や洗濯機など水を使用中の器具がないことを必ず確認してください。  
 (2) 元栓を閉めたら、近くの蛇口などで水が止まっていることを確認します。



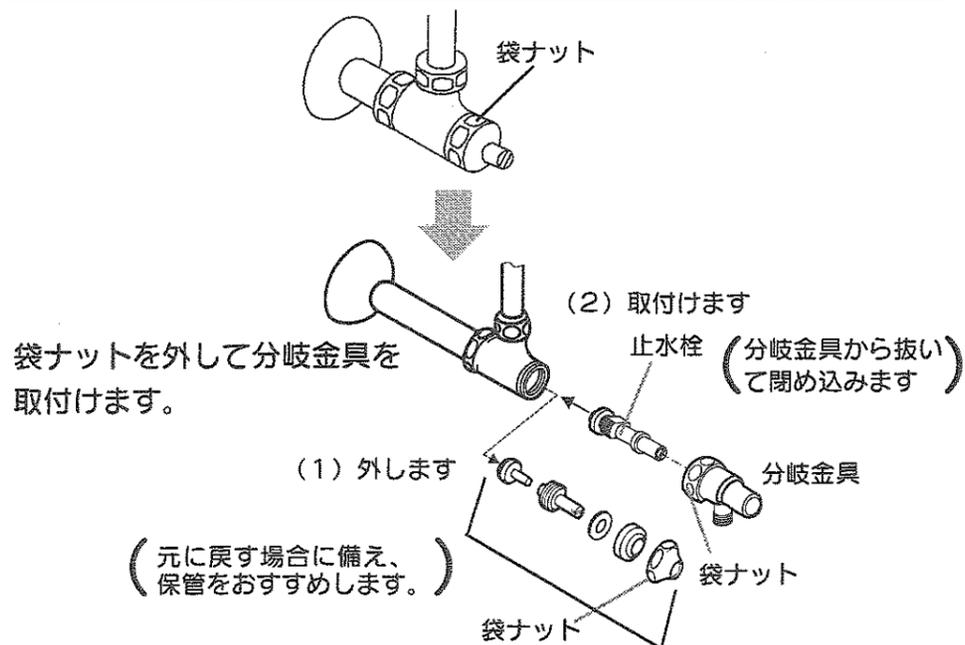
## 2 既設便座、便座ふたを取外します



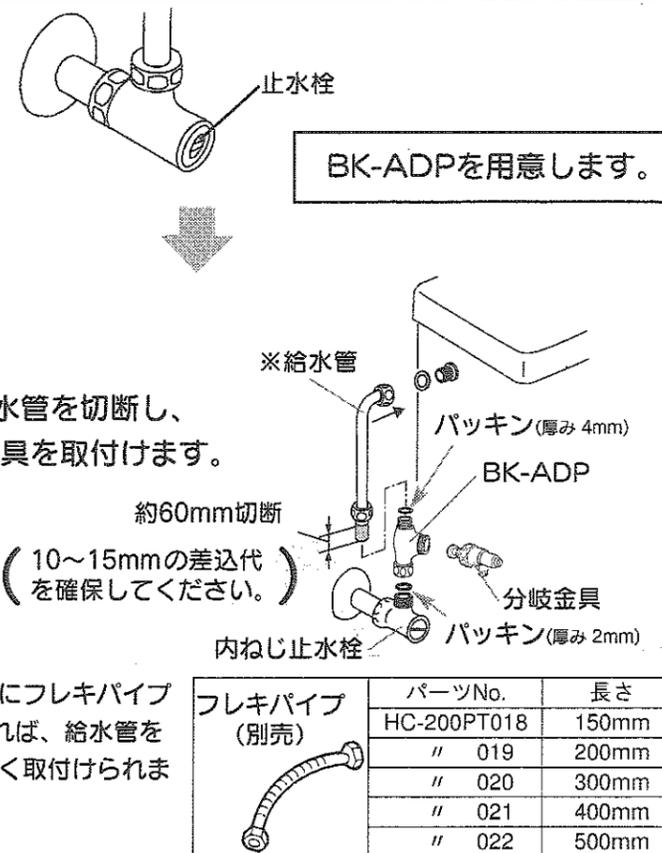
## 3 分岐金具を取付けます

- 袋ナットを外すとき、配管内の残水がでますので広口の容器で受けてください。
- 分岐金具を取付ける際、分岐金具の止水栓を右に回し切ってから取付けてください。
- 止水栓を右に回し切らずに、分岐金具を締め込むと止水できない場合があります。
- 分岐金具の袋ナットは手で強くねじ込んだ後、スパナなどで約半回転(180°)締め付けてください。
- 再度袋ナットが締まっていることを確認してください。

### 一般の止水栓の場合



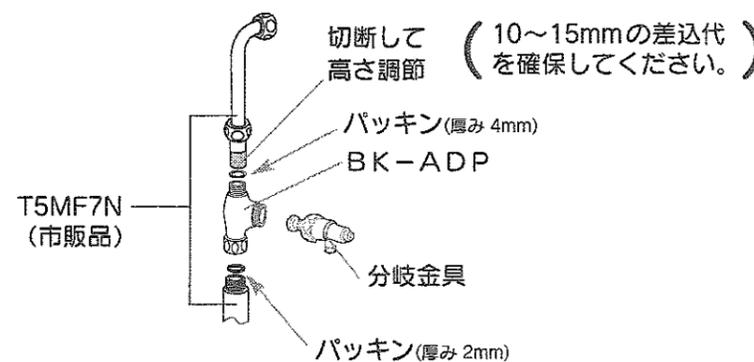
### 内ねじ止水栓の場合



### 寒冷地用給水管 (止水栓なし) の場合

東陶製給水管 T5MF7N (市販品) と BK-ADP を用意します。

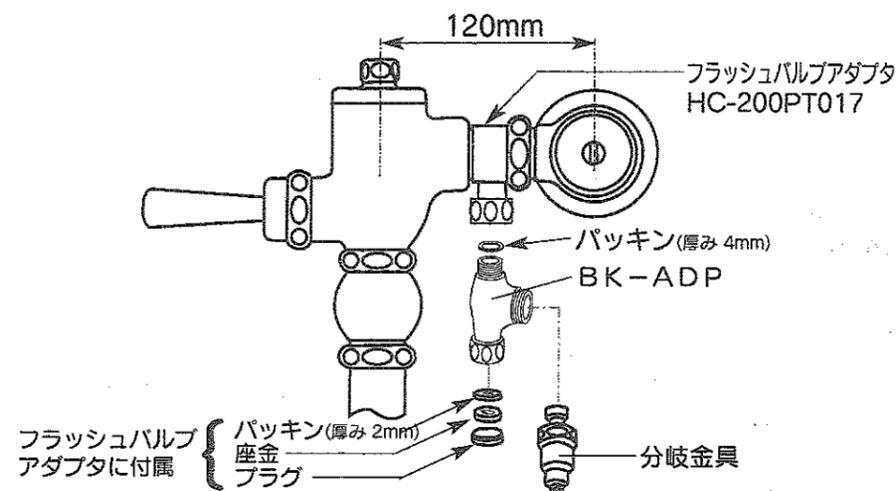
給水管を東陶製給水管 T5MF7N に取り替え、BK-ADP と分岐金具を取付けます。



## フラッシュバルブ式の場合

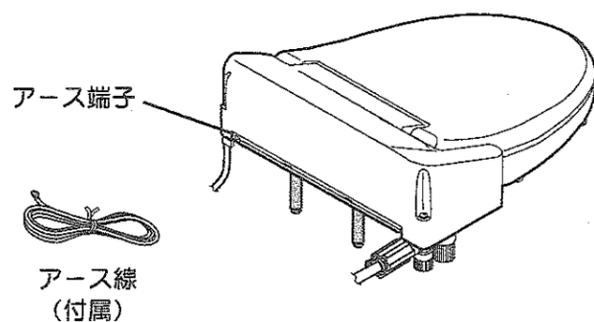
フラッシュバルブアダプタHC-200PT017とBK-ADPを用意します。

接続管をフラッシュバルブアダプタHC-200PT017に取り替え、BK-ADPと分岐金具を取付けます。



## 4 アース線をアース端子に取付けます

アース線をアース端子に取付け、もう一方をコンセントのアース端子へ取付けます。



## 5 本体を取付けます

(1) 連結ホースを本体に接続します。

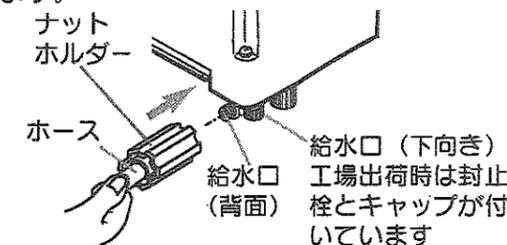
確実に接続するため、連結ホースは本体を便器に取付ける前に接続してください

ホースを持って給水口へまっすぐ差し込み、ナットホルダーを右に回してクリック感がなくなるまで締め付けます。

●ナットホルダーを締めた後、ホースが抜けにくい軽く引いて確認してください。

・連結ホースは下向きにも取付けられます。

この場合は封止栓とキャップを背面の給水口に取付けます。



### 注意

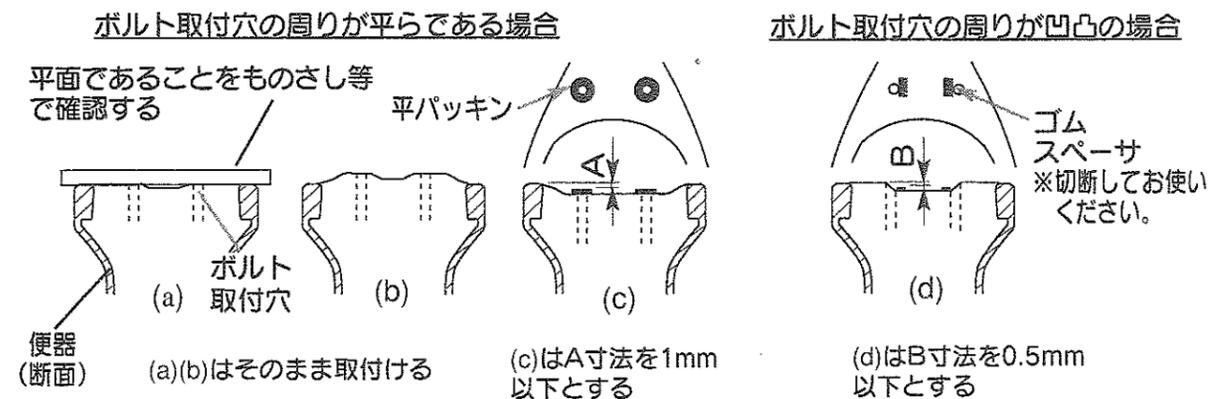
ナットホルダーは手で締めてください。締め付け途中で、ホース等に無理な力を加えないでください。締めた後、ホースが抜けにくいことを確認してください。

給水口に過大な力が加わると破損したり、接続が不確実な場合は水漏れします。

(2) 本体を便器に取付けます。

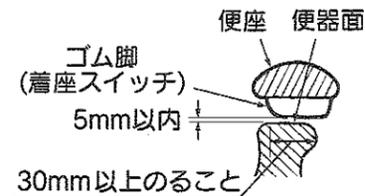
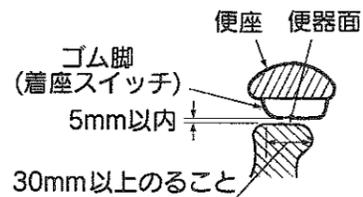
### おそうじスライド付きの場合

- ①おそうじスライドの取付け面が平面であることを確認します。(ものさし等を取付け面に当て確認する) おそうじスライド操作が円滑に行えるように取付けるには、取付け面がほぼ平面であることが必要です。凹凸がある場合は次の図を参考に平パッキンやゴムスペーサで平面出しを行います。(凹凸が大きい場合は、平パッキンとゴムスペーサの併用あるいはゴムスペーサを重ね貼りして対応します。)



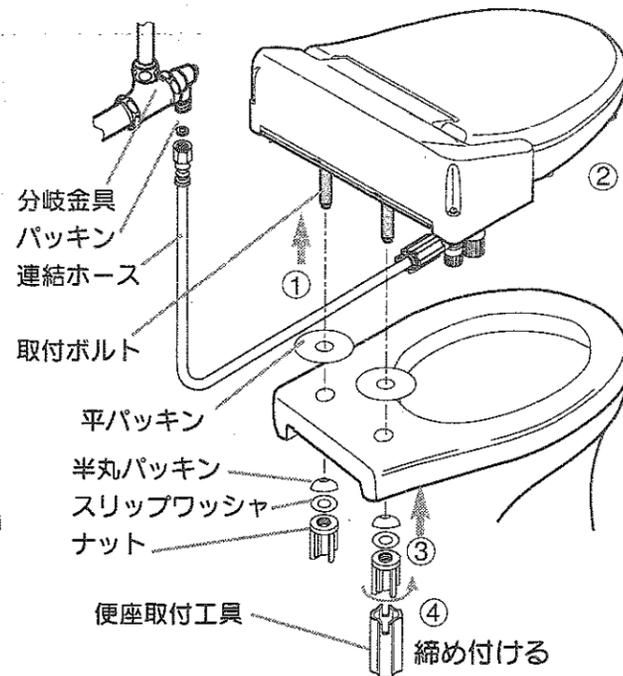
- ②おそうじスライドに取付ボルトを差し込み、便器に乗せます。
- ③取付ボルトに半丸パッキン・スリップワッシャ・ナットの順に入れ、おそうじスライドをロータンクより約30mmの位置に取付けます。  
・ナットは押し上げると締め込み位置まで移動します。
- ④おそうじスライドと本体の三角マークを合わせて、本体をおそうじスライドのレールに差し込みます。
- ⑤本体をレールに差し込む途中で「カチッ」と音がします。さらに「カチッ」というロック音が出るまで、ゆっくり押し込んでください。
- ⑥ナットを緩めて便器と便座の先端を合わせてから、再度便座取付工具でナットを増し締めします。
- ⑦おそうじスライド便座が円滑に動作するか下図のように確認します。

- 便座ゴム脚の便器からの浮き上がりは5mm以内にしてください。
- おそうじスライドしたとき、連結ホース・電源コードが引っ掛からないことを確認してください。水漏れ等の原因になります。
- 便座ふたと便座が止まるまで開き、前に倒れてこないことを確認してください。
- おそうじスライドを戻したときロータンクに当たらないことを確認してください。本体破損の原因になります。
- ・若干のガタツキがありますが、おそうじスライドの隙間によるもので、異常ありません。



### おそうじスライド無しの場合

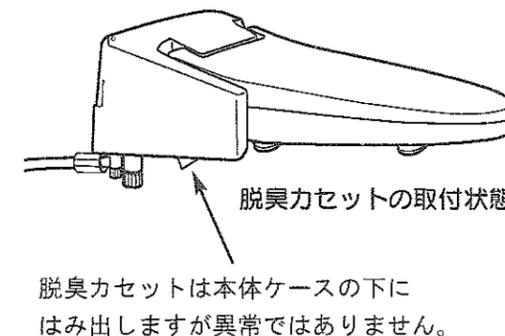
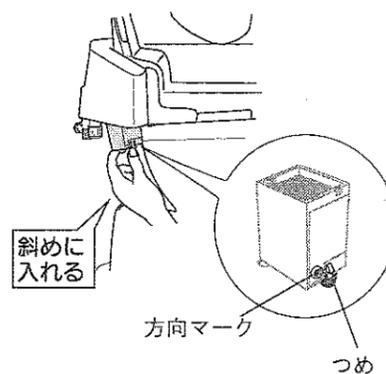
- ①取付ボルトに平パッキンを差し込み本体へ取付けます。
- ②本体を便器に乗せ、先端を合わせます。  
・本体は前後に位置調節できます。
- ③取付ボルトに半丸パッキン・スリップワッシャ・ナットの順に入れ、ナットを止まるまで押し上げ締め付けます。  
●便座を止まるまで開き、倒れてこないことを確認してください。
- ④本体がガタつかないように便座取付工具で締め付けます。
- 便座ゴム脚の便器からの浮き上がりは5mm以内にしてください。



- (3) 連結ホースを分岐金具に取付け、スパナで締め付けします。

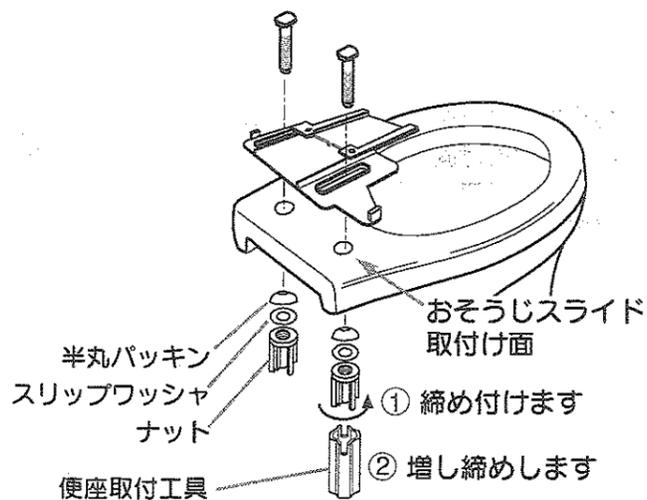
## 6 脱臭カセットを取付けます (脱臭機能付きのみ)

- 脱臭カセットを本体の脱臭カセット収納部を取付けます。  
・脱臭カセットの方向マークを確認し、脱臭カセットのつめがカチッと鳴りロックするまで差し込みます。

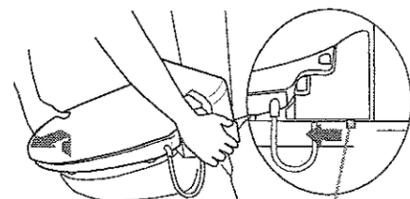


### 脱臭カセット取付け、交換時のご注意

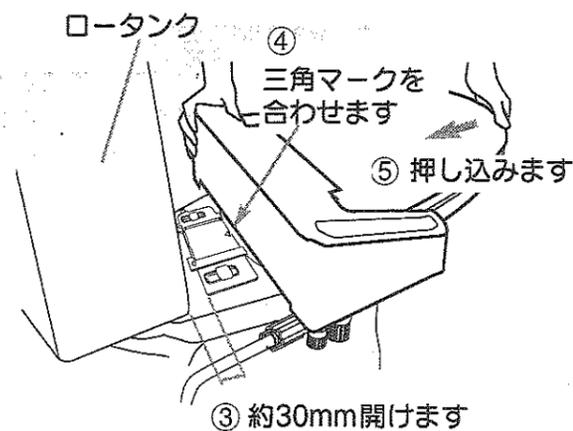
脱臭カセットを取付け又は交換する際には、次回交換の目安として、脱臭カセットのラベルに使用開始日を記入してください。



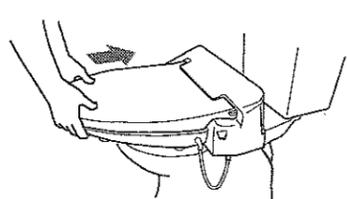
おそうじスライドのしかた



便座を持ち上げ、本体右下のレバーを引きながら、本体を手前にゆっくり引きます。



おそうじスライドの戻しかた

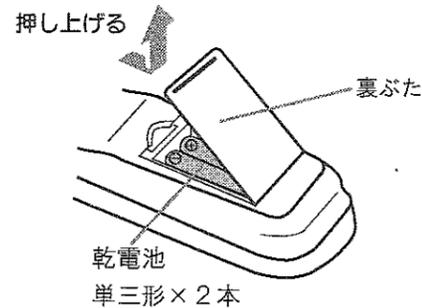


便座を持ちながら「カチッ」とロック音が出るまでゆっくりと押し込みます。

## 7 リモコンを取付けます (リモコン付きのみ)

### (1) 電池を入れる

- ①リモコンをホルダーより取出します。
- ②裏ぶたを外します。(右図)
- ③電池を入れます。



- ⊕ ⊖ の向きをリモコンの表示通り正しく入れてください。
- 電池の寿命は通常約1年です。(マンガン乾電池の場合)
- 取替えは2個とも新しい同種のものにしてください。
- 2ヶ月以上ご使用にならないときは電池を取出しておいてください。

- ④裏ぶたを取付け、リモコンをホルダーに戻します。

### (2) 取付け位置を決めます。

本体操作パネル側の壁または便座に座って正面の壁を選びます。

取付けの都合上、座って左側の壁に取付ける場合は、便器先端より10cmの位置を目安とします。

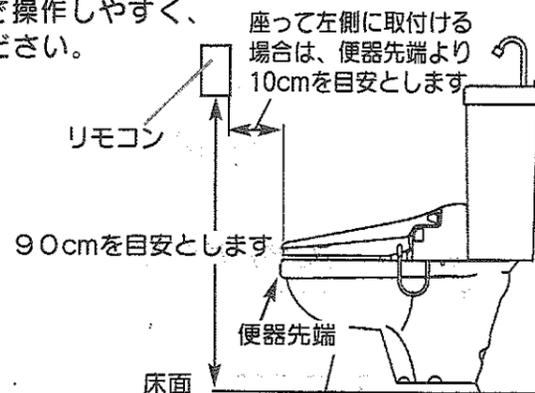
- ホルダーを取付ける前に、便座に座った状態で操作しやすく、受信可能な位置であることを十分確認してください。

#### ●取付不可の場所

- ・ドア等取付部分が動く場所  
(開閉の衝撃が故障の原因になるため)
- ・トイレトーパーやタオルなどで覆われる場所  
(赤外線信号を妨げるため)

### (3) ホルダーを取付けます。

- ①ホルダーを取付位置に当て、取付穴の位置に印をつけます。
- ②壁の種類により次のように取付けます。

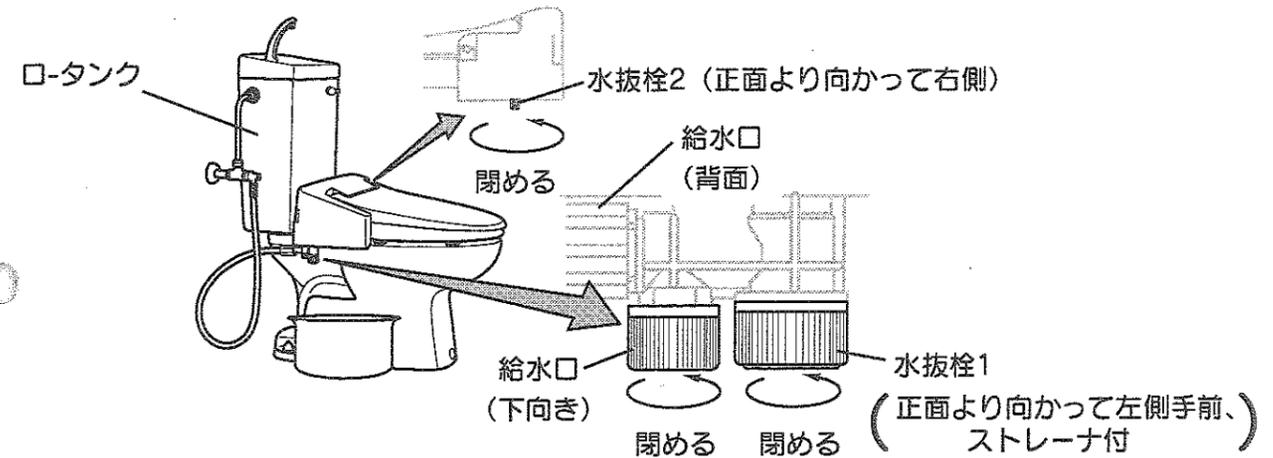


壁の種類	取付部品 (付属品)	取付方法	使用工具
板厚5mm以上の板壁	木ねじ (2本)	ホルダー 木ねじをホルダーに通し直接固定します。	・プラスドライバー
板厚5mm以下の板壁	アンカープラグ (2本)	ホルダー 下穴 内径6mm 1 下穴 (内径6mm) をあける。 2 アンカープラグを打ち込む。 3 木ねじをホルダーに通しアンカープラグに締め込む。	・プラスドライバー ・電動ドリル
タイル・コンクリート壁 石膏ボード	木ねじ (2本)	ホルダー 下穴 内径6mm 1 下穴 (内径6mm) をあける。 2 アンカープラグを打ち込む。 3 木ねじをホルダーに通しアンカープラグに締め込む。	・ハンマー

## 8 試運転をします

### (1) 温水洗浄便座に給水します。

- ①給水口と水抜栓1及び水抜栓2が閉まっていることを確認してください。



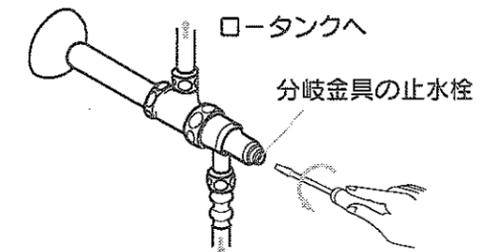
- 給水口は2箇所ありますので、一方が連結ホースに接続していること、他方が閉まっていることを確認してください

- ②水道の元栓を開きます。

- ③分岐金具の止水栓を開きます。

マイナスドライバーで、分岐金具の止水栓を左に回して開きます。

- 分岐金具や連結ホースの接続部から水漏れがないことを確認してください。



- ④ロータンクに給水されることを確認してください。

温水洗浄便座へ ※左に回して開く

### (2) 本体に通電します。

- ①コンセントに漏電保護プラグを根本まで確実に差し込みます。

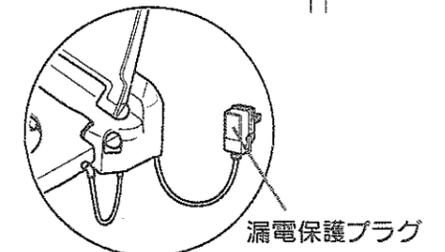
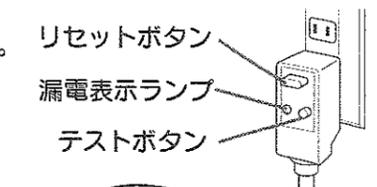
- ②漏電保護プラグの作動テストを行います。

テストボタン (○直径約5mm) を押し、漏電表示ランプが点灯することを確認してください。

- 漏電表示ランプが点灯している間は本体に通電されません。

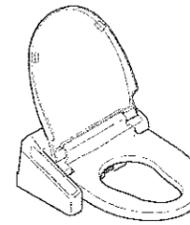
- ③本体に通電します。

リセットボタン (○幅約15mm) を押し、漏電表示ランプが消灯し、本体操作パネルのランプが点灯することを確認してください。



#### お願い

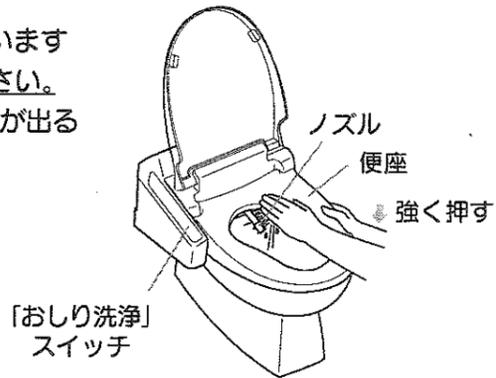
- 月に1~2回は、テストボタンを押して作動テストをしてください。
- 作動テストをすると洗浄水勢、各種設定温度は初期状態に戻ります。再調節してください。



メモ欄として活用してください。

- (3) ノズルから洗浄シャワーが出ることを確認します。  
便座の前側を強く押し下げたまま **おしり洗浄**スイッチを押して、ノズルから洗浄シャワーが出ることを確認します。  
(図のように手を当てます)

- 通電後約30秒間は、自動的にノズルの作動テストを行いますので操作できません。約30秒たってから操作してください。
- おしり洗浄**スイッチを押してノズルから洗浄シャワーが出るまでに約1~2分かかります。
- 着座スイッチ付きですので、便座に荷重がかからないと洗浄できません。
- 洗浄シャワーは、温水タンクが満水になってから約7分後に温水になります。
- ノズルから洗浄シャワーが出る前に停止したときは、再度 **おしり洗浄**スイッチを押してください。



●以上で取付完了です。  
「使いかた」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※すぐにご使用にならない場合は28ページの「凍結予防について」をよくお読みのうえ、水抜きを行ってください。

# 使いかた

## 使用上のご注意

- ご使用前にこの「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



### 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

### 絵表示の例



△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合はやけど注意)が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解や修理・改造の禁止)が描かれています。



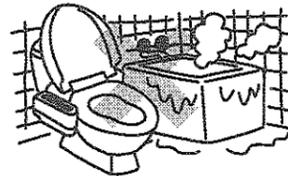
## 警告

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わない



- 発火したり、異常動作をしてけがをすることがあります。

浴室内など、湿気の多い場所には設置しない



- 感電や火災の原因になります。

本体や漏電保護プラグ部に汚水や水をかけない



- 火災や感電原因になります。

中水道や工業用水の水道に接続しない



- ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす恐れがあります。



## 警告



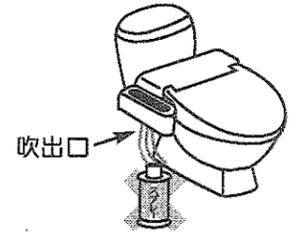
### 低温やけどの恐れあり

- 幼児や身体の不自由な方は、付添いなしでは使用しないでください。
- 次のような方が使用されるときには周りの方が注意してあげてください。お子様、お年寄り、皮膚の弱い方、身体の不自由な方、眠気を誘う薬(睡眠薬や風邪薬など)を服用された方や、深酒、疲労の激しい方。



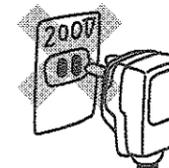
### 部屋暖房吹出口の近くに可燃物を置かない

- 爆発や火災が発生する恐れがあります。



## 注意

### 交流100V以外は使用しない

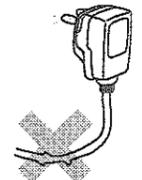


- 火災や感電の原因になります。



### 電源コードや漏電保護プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

- 感電・ショート・発火の原因になります。



### 漏電保護プラグにゴミが付着したまま使用しない



- ショートし発火する恐れがあります。



### 雷が鳴っているときは使わない

- コンセントから漏電保護プラグを抜いて下さい。
- 雷による過電流で故障の原因になることがあります。



### 異常なときは使用しない

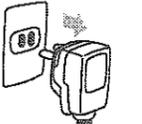


- 煙が出ている、変な音や臭いがするときは、すぐにコンセントから漏電保護プラグを抜いて、販売店または営業所にご連絡下さい。



### 長期間ご使用にならないときは、電源を切り、水抜きする

- 絶縁劣化による感電や漏電火災または凍結破損による水漏れの原因になります。





## 注意

開口部から物をいれない



●感電や故障の原因になります。

温風乾燥吹出口、部屋暖房吹出口に指を入れたり、ふさいだりしない



●やけどをしたり、火災や故障の原因になります。

乗ったり衝撃を加えない



●割れてけがをする恐れがあります。

便座ふたによりかからない



●便座ふたが割れて転倒したりけがをする恐れがあります。

おそうじスライドを動かした状態で座ったり無理な力を加えない



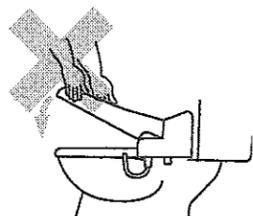
●本体が破損し、けがをする恐れがあります。

シンナー、ベンジン、アルカリ・酸性洗剤、薬品、殺虫剤、芳香剤をかけたリ、たわしでこすったりしない



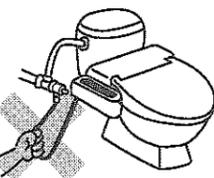
●便座などがひび割れし、けがや火災の原因になります。

便座・便座ふたは無理に閉めない



●故障の原因になります。

連結ホースに力を加えない

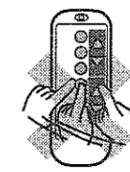


●漏水の原因になります。



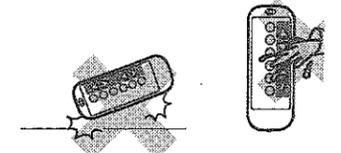
## 注意

スイッチは必要以上に強く押したり、早く操作しない



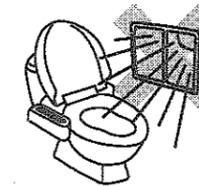
●故障の原因になります。

リモコンは落としたり、水をかけたりしない



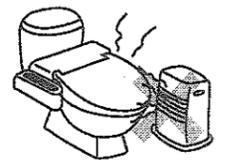
●リモコンは床や便器に落とすと故障や破損の原因になります。

直射日光に当てない



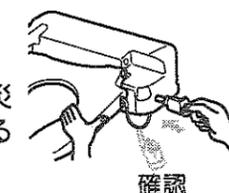
●変色やリモコン操作不良の原因になります。

トイレ暖房用ストーブ・ヒーターを近づけない



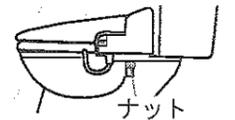
●火災や故障や変色の原因になります。

便座を外し元に戻す場合は便座コードをねじらない



●コードが断線し、火災や故障の原因になります。

本体・便座がずれたら



着座スイッチが便座にのっているか確認し、取付ボルトのナットを適度の強さに締め直して下さい

●故障や水漏れの原因になります。

おそうじスライドがずれたら



本体を一旦収納して、便座と便器の先端を合わせて、取付ボルトのナットを適度の強さに締め直して下さい

●本体が破損し、けがをする恐れがあります。

おそうじスライドを戻す時は本体がロックされるのを確認する



●本体が破損し、けがをする恐れがあります。

# お使いになる前の準備

お使いになる前に15ページおよび16ページをよくお読みになり、試運転を行ってください。

## 本体操作方法

### 1 座る

着座すると脱臭が自動的に入り、便座から立ち上がると約2、3分後に停止します。(脱臭機能付きの場合)

### 2 洗浄

**おしり洗浄** おしり洗浄スイッチを押します

**ビデ洗浄** ビデ洗浄スイッチを押します

- 水勢は洗浄スイッチを押すたびに、それぞれ6段階に調節できます。
- 操作音の6段階中4段階目は、長音でお知らせします。
- 連続約2分間使用しすぎると自動停止します。
- 通常、水勢表示ランプはおしり洗浄の水勢を表示します。ビデ洗浄の水勢はビデ洗浄中のみ表示します。

### 3 温風乾燥 (温風乾燥機能付きの場合)

温風乾燥スイッチを押します

- 温風温度は本体の温風乾燥スイッチを押すたびに、約40~65℃に6段階および「切」に調節できます
- 操作音の6段階中4段階目は、長音でお知らせします。
- あらかじめ水滴をトイレットペーパーでふき取ると、早く乾きます。
- 連続約5分間使用しすぎると自動停止します。

### 4 停止

止スイッチを押します

イラストは  
部屋暖房、温風乾燥  
機能付を示しています



## 温水、便座の温度調節



スイッチを押す度に、低~高に温度が調節できます。  
お好みの温度に調節します。

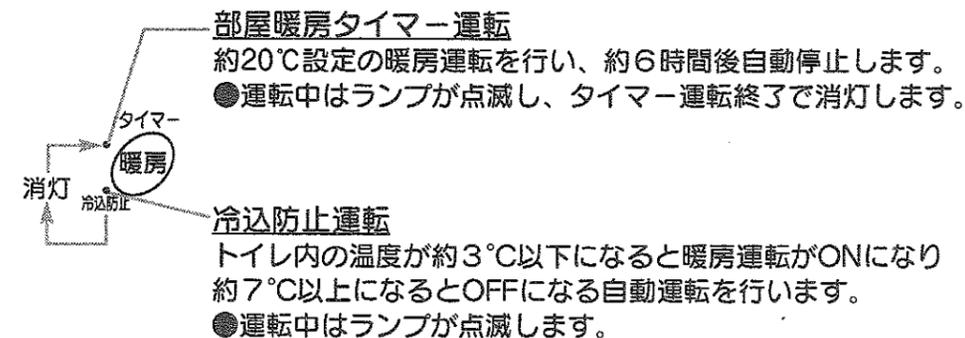
- 温水温度は約30~約40℃に6段階および「切」に調節できます。
- 便座温度は約30~約43℃に6段階および「切」に調節できます。
- 操作音の6段階中4段階目は、長音でお知らせします。

## 節電

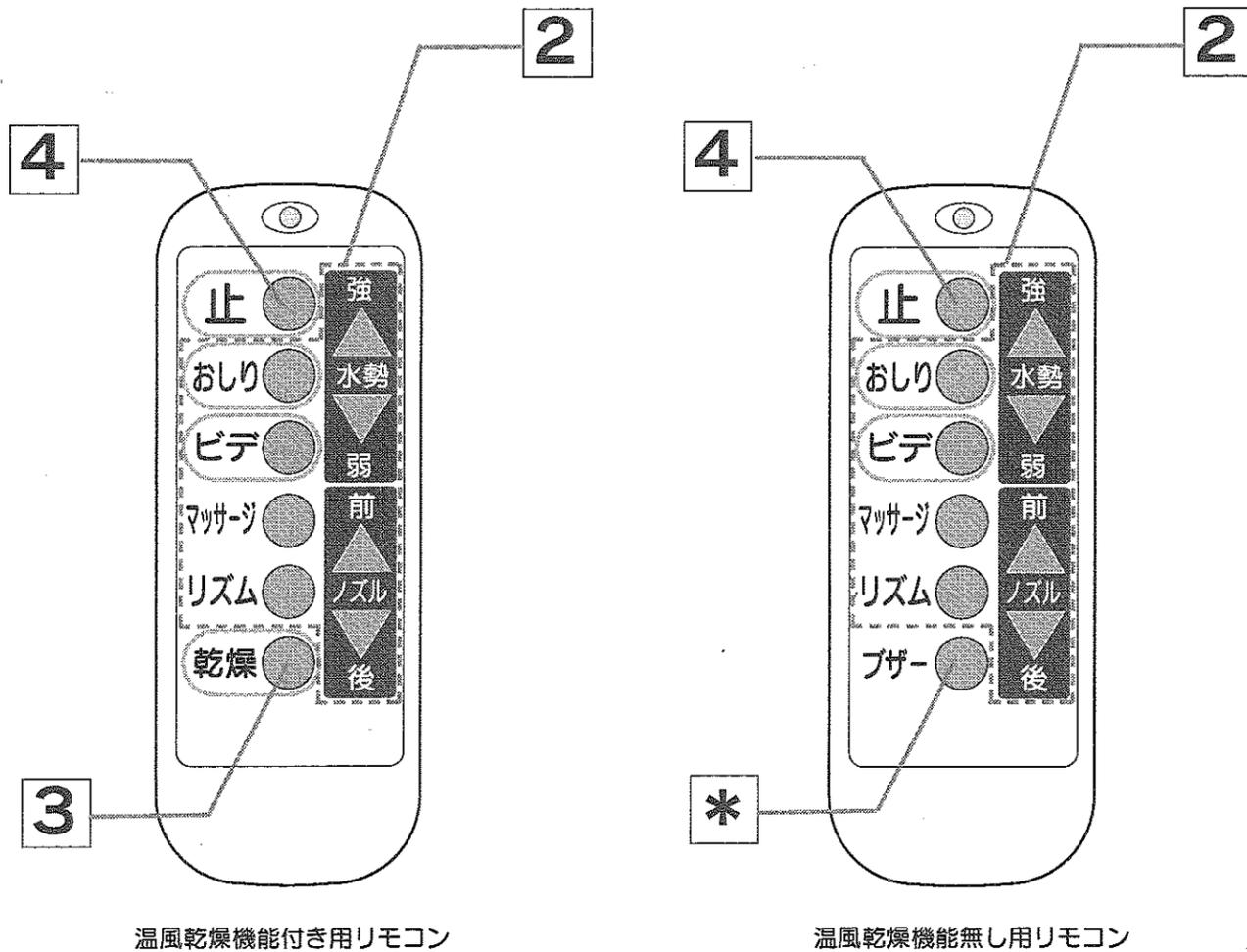
温水温度調節スイッチと便座温度調節スイッチを同時に押すと節電モードになります。節電中は、温水と便座の温度が下がり、温水温度表示ランプと便座温度表示ランプが点滅します。ご使用になるときや節電モードを解除するには、再度、温水温度調節スイッチと便座温度調節スイッチを同時に押します。

## 部屋暖房 (部屋暖房機能付きの場合)

ランプが消えた状態から暖房スイッチを押すたびに、タイマー運転→冷込防止運転→「切」と切り変わります。



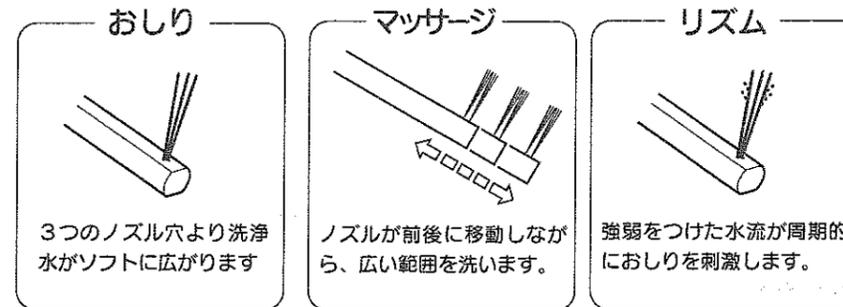
# リモコン操作方法



**\* ブザー**  
スイッチを押すたびに操作音が入/切します

**1 座る**  
着座すると脱臭が自動的に入り、便座から立ち上がると約2、3分後に停止します。(脱臭機能付きの場合)

**2 洗浄**  
お好みに合ったスイッチを押します  
**おしり洗浄** 3種類のいずれかのスイッチを押します



**ビデ洗浄** ビデ洗浄スイッチを押します

- 水勢が6段階に調節できます。
- 操作音の6段階中4段階目は、長音でお知らせします。
- ノズルの位置が調節できます。
- 連続約2分間使用しますと自動停止します。止スイッチを押さなくても、洗浄モードを切り換えて使用した場合も、使い初めてから約2分間で自動停止します。
- マッサージ洗浄とリズム洗浄はおしり洗浄のみです。

**3 温風乾燥 (温風乾燥機能付きの場合)**  
温風乾燥スイッチを押します

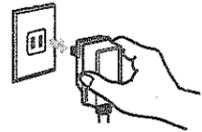
- 温風温度は本体の温風乾燥スイッチを押すたびに約40~65℃に6段階および「切」に調節できます
- 操作音の6段階中4段階目は、長音でお知らせします。
- あらかじめ水滴をトイレットペーパーでふき取ると、早く乾きます。
- 連続約5分間使用しますと自動停止します。

**4 停止**  
止スイッチを押します

●おしり洗浄、ビデ洗浄の水勢および、温風乾燥の温風温度は、最後に使った調節状態を記憶しています。  
●電池の寿命等でリモコンが使えない場合でも、本体操作パネルから操作できます。  
●リモコンが作動しなくなった場合は、新しい乾電池と交換して下さい。  
(電池交換方法は27ページをご覧ください)

# お手入れのしかた

●お手入れの前に必ず漏電保護プラグを抜いてください。



## 本体のお手入れ

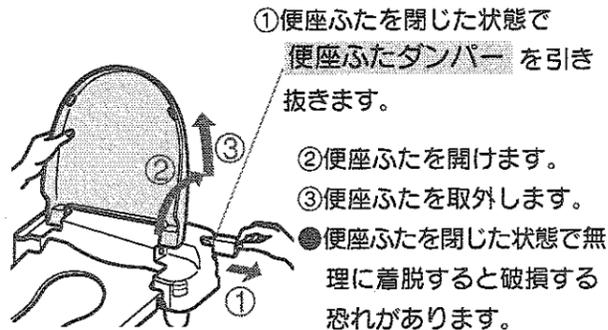
本体表面の汚れは、柔らかい布などに水を含ませ固く絞ってからふいてください。汚れがひどいときは、便座用中性洗剤を柔らかい布に含ませてふき取り、その後水ぶきしてください。  
●洗剤のご使用にあたっては、洗剤の用途をよく確認してからご使用してください。  
●アルカリ、酸性洗剤は便器へも使用しないでください。揮発したガスにより本体が故障、破損します。

## 注意



シンナー、ベンジン、アルカリ・酸性洗剤、芳香剤、殺虫剤、薬品をかけたり、たわしでこすったりしない  
●便座などがひび割れし、けがや火災の原因になります。

## 便座ふたの取外しかた



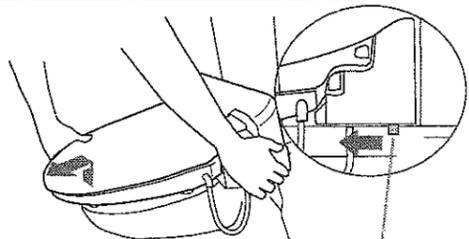
①便座ふたを閉じた状態で便座ふたダンパーを引き抜きます。  
②便座ふたを開けます。  
③便座ふたを取外します。  
●便座ふたを閉じた状態で無理に着脱すると破損する恐れがあります。

## 取付けかた

ダンパーは、便座・便座ふたを外した位置に戻して差し込みます。  
●ダンパーを無理に差し込むと破損する恐れがあります。  
●便座コードは、ねじらないで取付けてください。断線し、火災や故障の原因になります。

本体を約16cm引き出し、便器との隙間を清掃することができます。

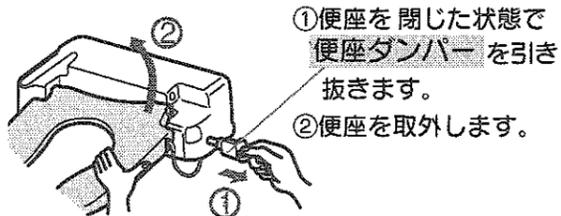
## おそうじスライドのしかた



便座を持ち上げ、本体右下のレバーを引きながら、本体を手前にゆっくり引きます。

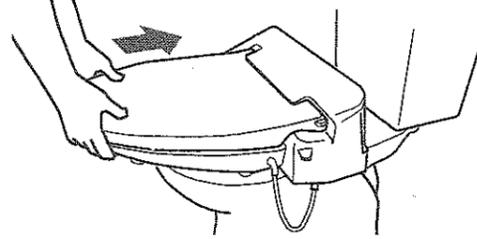
●無理に持ち上げたり急激に引き出すと、部品が破損したり本体が落下したりします。  
●便座は、裏側のゴムが便器との摩擦でスライド動作の妨げになりますので、持ち上げて操作してください。

## 便座の取外しかた



①便座を閉じた状態で便座ダンパーを引き抜きます。  
②便座を取外します。  
●便座コードは、本体から取外せませんので無理に引っ張らないでください。

## おそうじスライドの戻しかた

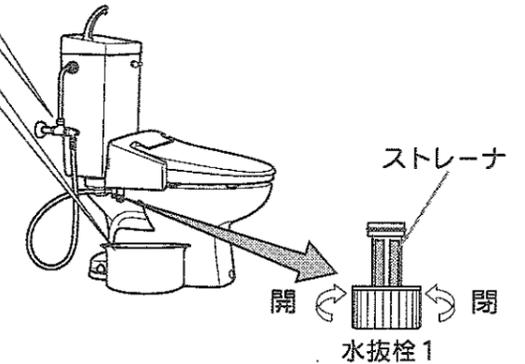


便座を持ちながら「カチッ」とロック音がするまでゆっくりと押しします。

## ストレーナのお手入れ

洗浄水の出が悪くなったときは、次の手順でストレーナを掃除してください。

- ①分岐金具の止水栓を右に回して閉めます。
- ②本体底面の水抜栓1の下に広口容器を置きます。
- ③水抜栓1 (大きいツマミ) を外します。
- ④ストレーナを柔らかいブラシなどで掃除します。
- ⑤水抜栓1を元通りに締めます。
- ⑥分岐金具の止水栓を左に回して開け、水漏れが無い確認します。

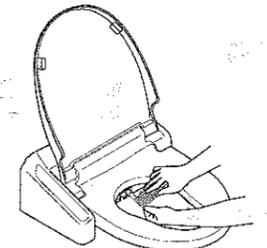


ストレーナ  
水抜栓1  
開 閉  
(正面より向かって左側、手前)

## ノズルのお手入れ

ノズルの先端を掃除する場合は、次の手順で行ってください。

- ①ノズルを引き出します。
- ②柔らかいスポンジや布で軽くふいてください。  
●ノズル穴が傷つかないように注意してください。  
●ノズルに無理な力を加えないよう注意してください。

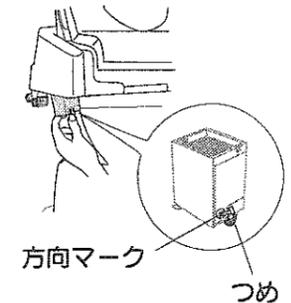


## 脱臭カセットの取り替え

脱臭カセットのつまめを押しながら斜め前方に引き出します。取付けは、脱臭カセットの方向マークを確認し、脱臭カセットのつまめがロックするまで差し込んでください。  
●脱臭カセットの購入は、お求めの販売店または営業所にお申し付けください。(型番: HC-DC-D)

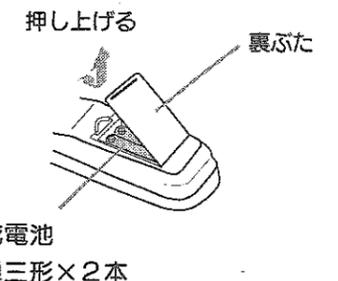
## 注意

- 脱臭カセットには絶対に洗剤をかけない  
●アルカリ系洗剤がかかったときは、すぐに換気してください。  
●有害な塩素系ガスが発生し危険です。



## 電池交換 (リモコン)

- (1) 電池を入れる  
①リモコンを上方に引き上げてホルダーより取出します。  
②裏ぶたを外します。(右図)  
③新しい電池を入れます。  
●⊕⊖の向きをリモコンの表示通り正しく入れてください。  
●電池の寿命は通常約1年です。(マンガン乾電池の場合)  
●取替えは2個とも新しい同種のものにしてください。  
●2ヶ月以上ご使用にならないときは電池を取出しておいてください。
- ④裏ぶたを取付け、リモコンをホルダーに戻します。



乾電池  
単三形×2本

# 凍結予防について

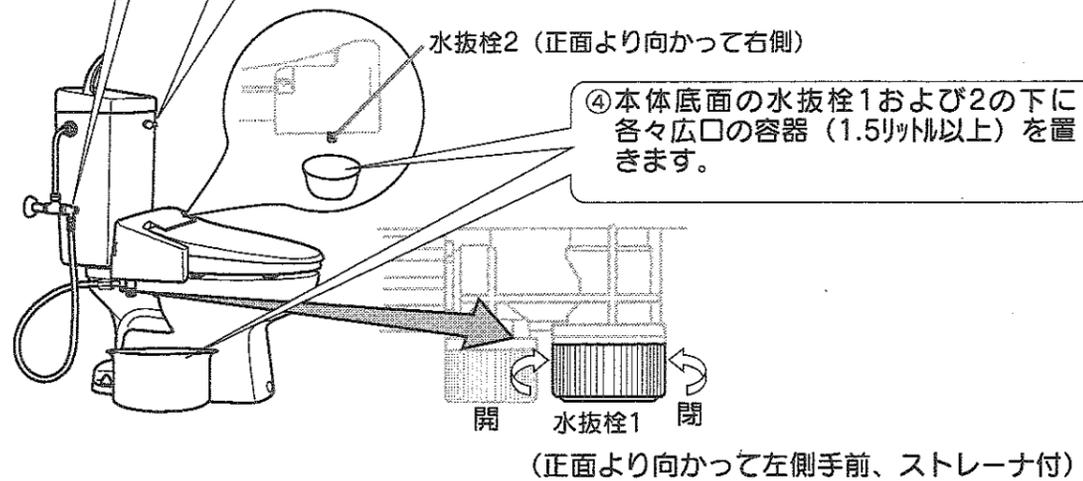
## 水抜きのかた —すぐにご使用にならない場合—

冬期、凍結の恐れがある場合やすぐにご使用にならない場合は、本体内の水抜きをしてください。

①漏電保護プラグを抜きます。

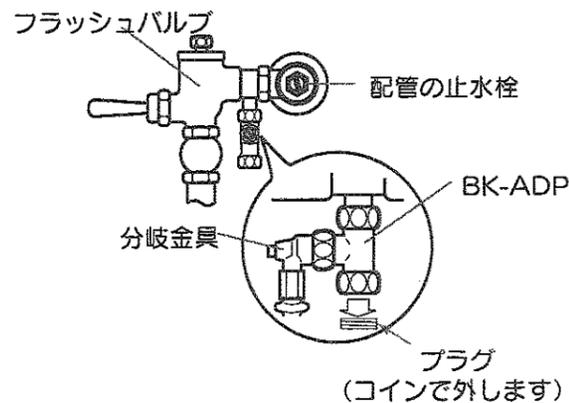
②分岐金具の止水栓を右に回して閉めます。

③ロータンクのレバーを操作して、ロータンク内の水を排水します。



⑤水抜栓1、水抜栓2を回してゆるめ、水抜きをします。

- 水抜きの際は、連結ホースを持ち上げてホース内の残水を抜いてください。
- フラッシュバルブをお使いの場合は、BK-ADPのプラグを外すとスムーズに水抜きできます。



⑥水抜きが終了したら水抜栓1、水抜栓2を元通りに締めます。

# 仕様

## 全機種共通

項目	内容	
定格	交流100V 50/60Hz 最大560W	
使用可能給水圧力	0.07~0.74MPa(0.7~7.5kgf/cm <sup>2</sup> )	
外形寸法	幅480×奥行545×高さ218mm (レギュラーサイズは奥行520mm)	
本体質量	約6kg	
電源コード	長さ1.1m、漏電保護プラグ(15mA、0.1秒以内)付き	
温水洗浄装置	おしり洗浄	※0.6~1.1L/分 3穴シャワー
	ビデ洗浄	※0.7~1.1L/分 7穴シャワー
	水勢調節	おしり・ビデ各々6段階
	温度調節	6段階調節(約30~40℃)、およびヒーター「切」
	温水ヒーター	505W
	温水タンク容量	約1.2L
暖房便座装置	便座ヒーター	49W
	便座材料	抗菌材入りプラスチック
	温度調節	6段階調節(約30~43℃)、およびヒーター「切」
ソフト閉止	便座および便座ふた	
誤動作防止装置	着座スイッチ	

## 脱臭機能付きのみ

脱臭方式	触媒脱臭方式
------	--------

## 温風乾燥機能付きのみ

温風乾燥装置	温風ヒーター	320W
	温度調節	6段階調節(約40~65℃)、およびヒーター「切」

## 部屋暖房機能付きのみ

温風ヒーター	300W	
タイマー運転	設定温度	約20℃とヒーター「切」 ※※
	運転時間	約6時間
冷込防止運転	設定温度	約7℃とヒーター「切」

- ※ 水量は給水圧力0.15~0.74MPa (1.5~7.5kgf/cm<sup>2</sup>) の場合です。  
 使用可能給水圧力は0.07~0.74MPa (0.7~7.5kgf/cm<sup>2</sup>) ですが、0.07~0.14MPa (0.7~1.4kgf/cm<sup>2</sup>) で使用する場合は、最大水量が少なくなったり、十分な水勢が得られていても他の器具で水を使ったために給水圧力が下がり、十分な水勢が得られないことがあります。  
 また、低給水圧力の場合、水勢「弱」では吐水しないことがあります。  
 ※※室温やトイレの構造により、設定温度まで上がらない場合があります。

# 故障かなと思ったとき

「取扱説明書」に従って使用して、不明な点があるときや、異常を見つけたときは、次のことを点検して下さい。なお、アフターサービスについては、31ページをご覧ください。

1. 停電中または断水でないこと。
2. 漏電保護プラグが確実にコンセントに差し込まれており、通電状態（漏電表示ランプが消灯）になっていること。（15ページをご覧ください）
3. 不要電波（外部ノイズ）により一時的に誤動作することがあります。この時は、不要電波の影響が無くなるまで電源を切ってください。  
繰り返し誤動作する場合は、販売店または営業所にご相談ください。

## 修理を依頼される前にご確認ください

症 状	確 認 す る と ころ	ご参照ページ
暖房便座が暖まらない。 洗浄水が出ない。	●漏電保護プラグが抜けていませんか。 ●漏電保護プラグの漏電表示ランプが点灯していませんか。	15ページ
洗浄水が出ない。	●止水栓が閉まっていますか。 ●便座に座っていますか。（または前側を強く押したまま操作しましたか。）	15ページ
水勢が弱い。 ノズルが出ない	●水抜栓1のストレーナがつまっていますか。 ●給水圧力が下がっていませんか。	27ページ 29ページ
暖房便座がぬるい・冷たい。 洗浄水がぬるい・冷たい。 温風温度がぬるい・冷たい。	●節電に設定されていませんか。 ●温度調節が「切」または低温に調節されていませんか。	23ページ
脱臭効果が感じられない。	●脱臭カセットが古くなっていませんか。	27ページ
洗浄、乾燥スイッチが入らない。	●本体、便座がずれていませんか。	21ページ
リモコンのスイッチを 押しても作動しない。	●リモコンの電池が古くなっていませんか。 （電池を取り替えてください。） ●本体操作パネルのリモコン受信部やリモコンの発信部が トイレットペーパーなどでおおわれていませんか。	27ページ 本ページの 次項目

## 知っておいていただきたいこと

- 洗浄停止中でもノズルから水がでることがあります。これは温水タンクの水が沸き上がった時の膨張水またはノズル内の残水によるもので故障ではありません。
- スイッチを押した後に、音がすることがあります。これは装置の駆動音で異常ではありません。
- おそうじスライド付きの場合、本体がロックされた状態でも、若干のガタツキがありますが、おそうじスライドのすきまによるもので異常ではありません。
- シューという音がすることがありますが、これは温水の沸き上げ音で異常ではありません。
- 温水洗浄便座を2台以上並べて使う場合はリモコンを使わないでください。誤動作することがあります。
- 本体操作パネルのリモコン受光部とリモコンの発光部の間に障害物があると、リモコンで操作できないことがあります。
- 電子点灯式の蛍光灯をお使いの場合、リモコンの信号を受けつけない場合があります。
- 温水タンク内の温水を使い終わると洗浄水が冷たくなります。この場合は、約7分程度洗浄を止めてからご使用ください。

# アフターサービスについて

## 保証書と保証期間について

- この温水洗浄便座には、無料修理保証書がついています。
- 無料修理保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
- 保証期間中でも有料になることがありますので、ご了承ください。  
（保証書に詳細を記載してありますので、そちらをご覧ください。）
- 保証期間経過後の修理につきましては、販売店または営業所にご相談ください。
- 修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるときは

- 温水洗浄便座が正常に動作しないときは、30ページの「故障かなと思ったとき」をご覧ください。それでも正常に動作しないときはすぐに使用を中止し、必ず漏電保護プラグを抜いてから、お買い求めの販売店または営業所にご相談ください。
- アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。
  - ①ご住所、お名前、電話番号
  - ②型式名：（例）HC-2000T-CP（便座ふた内側に貼ってあるラベルの右上に表示しています）
  - ③現象：できるだけ詳しくご説明ください。
  - ④訪問ご希望日、道順（付近の目印も）

## 転居されるときは

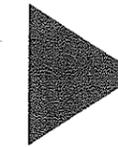
- 転居で、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もってお買い求めの販売店にご相談ください。ご転居先での取扱店を紹介いたします。  
（再設置に要する費用は、保証期間内であっても有料です。）

## 定期点検について（有料）

- 安心して末永く快適にご使用いただくために、定期点検をおすすめします。ご使用開始後3年程度でお買い求めの販売店または営業所に定期点検をお申し付けください。

ご使用の際このような現象はありますか？

- 水漏れがする。
- 焦げ臭いにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がある。
- 本体に触るとビリビリ電気を感ずる。
- スイッチを入れても動かないときがある。
- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- その他、異常・故障がある。



このような現象のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから漏電保護プラグを抜いて必ず販売店または営業所にご相談下さい。

## 部品の最低保有期間

- 当社は、この温水洗浄便座の補修用性能部品を、製造打切後、最低6年間保有しています。